

興和工業株式会社 サステナブル経営支援ローン 評価レポート

評価日：2026年8月21日

株式会社北洋銀行

中島町支店

1. 基本情報

企 業 名	興和工業株式会社	
代 表 者 名	代表取締役 鈴木 高士	
所 在 地	北海道登別市新栄町 1 番地 12	
設 立	1965 年 2 月	
資 本 金	5,000 万円	
従 業 員	40 名 (2026 年 8 月現在)	
業 種	プラスチック製品等製造業	
事 業 内 容	- 繊維強化プラスチック (FRP) 機器製造 - 光硬化 FRP 製下水道管更生材「シームレスライナー H」の製造販売 - プラント内耐食プラスチック製品 (塔・槽・配管等) のメンテナンス	
認 証 ・ 認 定	- 健康経営優良法人 2026 (6 年連続) - 品質マネジメントシステム JIS Q9001 : 2025 - 一般財団法人全国危険物安全協会 「鋼製地下タンク FRP 内面ライニング認定事業者」 - 北海道働き方改革推進企業	
沿 革	1958 年	創業者 鈴木実氏が「鈴木ビニール」として個人創業
	1965 年	興和工業株式会社設立
	1968 年	幌別に本社工場新築
	1970 年	耐食 FRP 事業を導入
	1980 年	現在地に本社工場新築移転
	1998 年	本社の拡張および第 2 工場を新築
	2005 年	鋼製地下タンク FRP ライニング事業開始
	2010 年	光硬化 FRP プリプレグシート生産開始
	2015 年	耐食プラスチック製品のメンテナンスを事業化
	2021 年	「健康経営優良法人」認証
	2022 年	シームレスライナー H 製造開始
	2023 年	JIS Q9001 : 2015 認証取得
	2025 年	「北海道働き方改革推進企業」認定

出所：興和工業 HP より弊社作成

2. 経営理念

経営理念

和以興 「和を以て興す」

事業理念：耐食プラスチック成型技術を礎に未来を創造します

- 一、私たちは、ものづくりを通じ、ひとづくりを大切にし、社会に貢献します。
- 一、私たちは、変化に対応した価値を創造し、安全安心信頼を顧客に提供します。
- 一、私たちは、会社、仕事を通じて自己実現をします。

【ものづくりを通じた社会貢献】

興和工業（以下「当社」）は、道内で最も早く FRP（繊維強化プラスチック）製品の製造に着手し、日本でもトップクラスの技術を有している。高度な FRP 技術や現場対応力を活かし、省エネ・再生可能エネルギーなど環境負荷低減に資する事業を推進している。「北海道省エネルギー大賞」の受賞に象徴されるように、エネルギー消費削減・脱炭素への取り組みを重要な経営テーマとして位置付けている。

【「和」の精神、ひとづくり・教育】

当社では、社員同士がお互いを大切にし、協力し合う社員の「和」を最重要視している。1 人のスーパースターに依存するのではなく、それぞれのポジションで全員が輝くチームワーク経営を志向している。共に働き、苦楽を分かち合いながら「社員と一緒に成長する会社」「働いている人が一番元気になる会社」を目指しており、社長自らが先頭に立って学ぶ姿勢を示すとともに、社外研修などを通じた社員教育を実施している。また、全員を正社員として雇用し、自己実現が可能な職場環境の構築に努めている。

3. 事業概要

登別市に本社を置く興和工業は、北海道における強化プラスチック機器製造のパイオニア的企業である。FRP（繊維強化プラスチック）は、さびない、軽い、加工しやすいといった特性を持ち、過酷な環境にも耐える素材として、宇宙開発にも活用されている。当社はFRP 機器製造をいち早く取り組み、道内はもとより国内トップレベルの技術力と現場対応力を有している。

少数多品種型である各種塔槽類では「ハンドレイアップ成形法」による高い成形精度を実現しており、大口径パイプ・タンク・煙突等においては「フィラメントワインディング成形法」の導入により、高い製造能力と品質を誇っている。その技術力は、本州大手メーカーからも高く評価されている。

■ ワイヤー巻タンク



■ 脱臭装置



■ 薬液タンク



■ 排気筒



■ FW成形



■ 洗浄装置（ユニット）



出所：興和工業 提供資料

【シームレスライナーH】

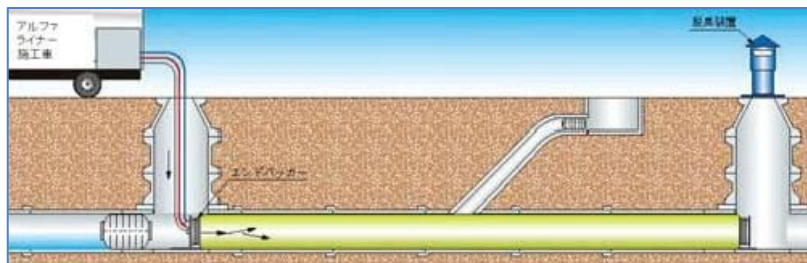
また、当社では既存製品製造の経験を生かし、環境汚染防止を視野に入れた事業にも取り組んでいる。薬液や有害物質などによる土壌や地下水汚染を防ぐための鋼製地下タンク FRP ライニング工事や、液漏れを未然に検知するシステムの販売にも着手している。2022 年からは、当社の主要事業のひとつとなりつつある「シームレスライナーH」（FRP 製下水道管更生材）の製造を行っている。

環境への配慮を重要課題として捉え、脱炭素社会実現に向けて GHG 排出量の可視化や排出量削減に向けたロードマップ作製など、具体的な取り組みを進めている。

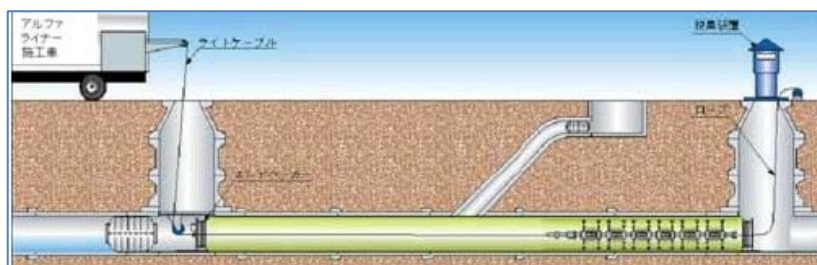
■ 引込工程 人孔からウインチでライナーを引き込む



■ 拡張工程 空気圧でライナーを拡張する



■ 硬化工程 管内から光を照射してライナーを硬化する



出所：興和工業 提供資料

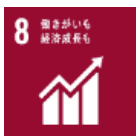
4. サステナビリティ目標

興和工業の更なる企業価値の向上と、持続可能な開発の実現にむけた社会課題を踏まえ、以下のサステナビリティ目標を設定した。この目標は、当社の事業エリアである北海道が持続的に発展し、魅力ある地域を創り上げていくために策定した「北海道総合計画（2024）」などを参照し、設定したものである。目標達成への企業行動を通じて、当社のプレゼンス向上と地域社会が目指す姿の実現に貢献するものであり、目標は有意義である。

(1) 環境面におけるサステナビリティ目標

重 要 課 題	脱炭素社会実現への貢献
目 標 ・ K P I	CO ₂ 排出量の可視化を実現する。
関連する SDGs	 

(2) 社会面におけるサステナビリティ目標

重 要 課 題	人的資本経営の推進
目 標 ・ K P I	消費者物価指数を上回る賃金上昇を継続して実施する。
関連する SDGs	 

留意事項

本文書は、北洋銀行が借入人に対して実施する「サステナブル経営支援ローン」に際し、借入人の企業経営とサステナビリティ目標に対する北洋銀行の評価を述べたものです。

本文書に記載された情報は、現時点で入手可能な公開情報、借入人から提供された情報や借入人へのインタビューなどで収集した情報に基づいて、現時点での状況を評価したものであり、当該情報の正確性、実現可能性、将来における状況への評価を保証するものではありません。

北洋銀行は当文書のあらゆる使用に起因して発生する全ての直接的、間接的損失や派生的損害については、一切義務または責任を負わないものとします。

本評価書に関する一切の権利は北洋銀行に帰属します。評価書の全部または一部を自己使用の目的を超えての使用（複製、改変、翻案等を含む）は禁止されています。